

奈良市鴻ノ池陸上競技場で開かれた陸上競技教室で学んだ人や、競技場の周辺でランニングする人たちに声をかけて、奈良市陸上競技協会が世話役となつて、2003年6月「鴻ノ池スポーツクラブ」が誕生した。陸上競技中心の集まりであったが、将来のクラブづくりを考え、あえて「陸上競技」の名称を使用しないでスタートした。

NPO法人ならスポーツクラブの取り組み

「新しい公共」目指して

ケージの崩壊など社会問題が多様化し、官だけでは解決策が進まないため、「地域づくり」を目標にスポーツクラブの育成を奨励し、「住民と行政」による「新しい公共」を目指す取り組みを奨め

た。情報を得たクラブ会員から、事業に参画しようとの声が上がった。クラブで活動する中高年の会員によって「ならスポーツクラブ」を立ち上げて対応することになった。ならスポーツクラブが目指し

市民に呼びかけていた。クラブでは、北京オリンピックメダリスト朝原宣治氏をゲストに、ウォーキングなどを企画して参加した。また会員のアイデアで、鴻ノ池陸上競技場に家族で楽しめるスポ

たのである。鴻ノ池スポーツクラブも、発足に当たってこの理念を共有し、市民のためのスポーツクラブを目指し、競技を愛する若いリーダーは、小中学生の会員を中心に熱心に指導を進めてきた。

一方06年頃、奈良県では2010年に開く「平城遷都1300年祭」に向かってさまざまな動きを見せていた。情報を得たクラブ会員から、事業に参画しようとの声が上がった。クラブで活動する中高年の会員によって「ならスポーツクラブ」を立ち上げて対応することになった。ならスポーツクラブが目指し

た取り組みは、古都奈良のランドマークを巡るマラソンの開催であった。関係機関とも連携して実現を目指した取り組みが今では国内有数の大会となっている。クラブ仲間は第1回大会からボランティアとして参加している。一方同時期、奈良市は遷都祭に向けて「市民連携企画補助事業」を



ともに汗を流すスポーツクラブ会員とともに＝鴻ノ池ロートフィールド

自身のトレーニングとともに、催しを通して人と人とのコミュニケーションを学んでいる。最近地域で活動している「奈良公園ゴミゼロプロジェクト」の仲間にも加わり、ス

スポーツ以外の新しいボランティア活動も育ちつつある。

奈良市では、04年「トップスポーツシティ奈良」と称して、市内で活躍するサッカーなどプロの競技を認定、行政主導で競技のブランド力を活用した地域活性化を図る事業に取り組んでいる。また昨年からは鴻ノ池陸上競技場周辺に、スケートボード施設の設置や、隣接する「旧監獄」のホテル改修にあわせて、鴻ノ池周辺のまちづくりを進めている。

鴻ノ池ロートフィールドに集うスポーツクラブ会員およそ200人、「クラブが地域に根付くと町の象徴となる」との理念のもと活躍するサッカーリーグの構想を本に、地域の信頼に応えられるクラブづくりを目指して活動を続けている。

第2、4土曜日掲載予定